

茨城県中小企業振興公社の 令和2年度決算報告書

(令和2年4月1日から7月31日まで)

令和2年10月

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構

目 次

令和2年度決算報告書	1
1 貸借対照表	1
2 正味財産増減計算書	3
(2-1) 正味財産増減計算書内訳表	5
3 キャッシュ・フロー計算書	7
4 財務諸表に対する注記	9
5 附属明細書	13
6 財産目録	14
独立監査人の監査報告書	15
監査報告書	18

令和2年度決算報告書

1 貸借対照表

令和2年7月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現預金	111,771,413	69,359,310	42,412,103
未収金	50,535,476	180,107,719	△129,572,243
未収収益	127,591	10,740	116,851
一年内回収設備資金貸付金	111,760,000	149,838,000	△38,078,000
流動資産合計	274,194,480	399,315,769	△125,121,289
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	35,006,960	35,006,960	0
基本財産合計	35,006,960	35,006,960	0
(2) 特定資産			
工業技術振興基金資産	2,042,000	2,042,000	0
いばらきチャレンジ基金資産	7,560,520,676	7,552,783,034	7,737,642
茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金資産	30,010,095,427	30,006,094,028	4,001,399
退職給付引当資産	117,655,876	143,374,946	△25,719,070
特定資産合計	37,690,313,979	37,704,294,008	△13,980,029
(3) その他固定資産			
設備資金貸付金	54,990,000	84,515,000	△29,525,000
設備資金貸付未収損害賠償金	24,778,000	25,494,000	△716,000
器具及び備品	2,065,774	2,332,553	△266,779
ソフトウェア	58,334	91,667	△33,333
その他固定資産合計	81,892,108	112,433,220	△30,541,112
固定資産合計	37,807,213,047	37,851,734,188	△44,521,141
資産合計	38,081,407,527	38,251,049,957	△169,642,430

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	37,532	0	37,532
未払費用	1,332,231	14,207,741	△12,875,510
預り金	403,440	832,046	△428,606
償却債権預り金	1,363,000	3,336,032	△1,973,032
一年内返済長期借入金	201,041,000	264,563,000	△63,522,000
賞与引当金	0	12,850,000	△12,850,000
流動負債合計	204,177,203	295,788,819	△91,611,616
2 固定負債			
長期借入金	86,128,000	173,829,000	△87,701,000
いばらきチャレンジ基金	6,020,000,000	6,020,000,000	0
茨城県関東・東北豪雨被災 中小企業復興支援基金	30,000,000,000	30,000,000,000	0
退職給付引当金	147,224,025	147,224,025	0
固定負債合計	36,253,352,025	36,341,053,025	△87,701,000
負債合計	36,457,529,228	36,636,841,844	△179,312,616
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金等	1,587,633,458	1,575,894,417	11,739,041
指定正味財産合計	1,587,633,458	1,575,894,417	11,739,041
(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,552,633,458)	(1,540,894,417)	(11,739,041)
2 一般正味財産	36,244,841	38,313,696	△2,068,855
(うち基本財産への充当額)	(6,960)	(6,960)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(24,645)	(24,645)	(0)
正味財産合計	1,623,878,299	1,614,208,113	9,670,186
負債及び正味財産合計	38,081,407,527	38,251,049,957	△169,642,430

2 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和2年7月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	116,986	345,267	△ 228,281
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	69	204	△ 135
③ 事業収益			
受取協賛金	0	360,000	△ 360,000
④ 受取補助金等			
受取補助金（県）	5,044,000	307,293,629	△ 302,249,629
受取補助金（国等）	0	11,010,458	△ 11,010,458
受取助成金（国等）	0	1,922	△ 1,922
受託金（県）	966	100,739,101	△ 100,738,135
受託金（国等）	0	122,886,389	△ 122,886,389
⑤ 受取負担金			
受取負担金	0	18,247,504	△ 18,247,504
⑥ 受取寄付金			
受取寄付金振替額	37,992	14,523,690	△ 14,485,698
⑦ 雑収益			
雑収益	70,497	792,800	△ 722,303
経常収益計(A)	5,270,510	576,200,964	△ 570,930,454
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	261,634	10,349,006	△ 10,087,372
給料手当	2,592,030	79,089,274	△ 76,497,244
嘱託配置費	0	18,892,295	△ 18,892,295
退職給付費用	0	8,342,930	△ 8,342,930
福利厚生費	397,290	15,083,390	△ 14,686,100
報償費	0	168,960,217	△ 168,960,217
旅費	0	17,350,069	△ 17,350,069
事務費	266,722	28,659,404	△ 28,392,682
助成費	0	72,584,998	△ 72,584,998
委託費	361,968	419,904	△ 57,936
燃料費	11,090	386,056	△ 374,966
器具及び備品減価償却額	210,070	642,851	△ 432,781
保険料	0	50,000	△ 50,000
水道光熱費	0	720,223	△ 720,223
賃借料	303,650	51,795,623	△ 51,491,973
公租公課	200	2,810,032	△ 2,809,832
分担金・負担金	49,000	1,903,731	△ 1,854,731
工事及び装飾費	0	7,244,780	△ 7,244,780
賞与引当金繰入額	0	10,053,446	△ 10,053,446
雑費	72,233	1,437,788	△ 1,365,555

科目	当年度	前年度	増減
②管理費			
役員報酬	281,129	3,042,923	△ 2,761,794
給料手当	887,729	24,184,879	△ 23,297,150
退職給付費用	0	2,343,804	△ 2,343,804
福利厚生費	137,517	4,409,095	△ 4,271,578
報償費	396,000	2,748,000	△ 2,352,000
旅費	31,952	929,511	△ 897,559
事務費	326,029	13,162,177	△ 12,836,148
委託費	66,000	65,400	600
燃料費	4,754	101,390	△ 96,636
器具及び備品減価償却額	90,032	168,831	△ 78,799
水道光熱費	0	189,151	△ 189,151
賃借料	130,136	13,602,892	△ 13,472,756
公租公課	50,000	4,800,368	△ 4,750,368
分担金・負担金	21,000	499,972	△ 478,972
賞与引当金繰入額	0	2,796,554	△ 2,796,554
雑費	391,190	1,725,694	△ 1,334,504
經常費用計(B)	7,339,355	571,546,658	△ 564,207,303
当期經常増減額(C)(A-B)	△ 2,068,845	4,654,306	△ 6,723,151
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計(D)	0	0	0
(2) 經常外費用			
補助金等返還額	0	3,890,827	△ 3,890,827
器具及び備品除却損	10	0	10
經常外費用計(E)	10	3,890,827	△ 3,890,817
当期經常外増減額(F)(D-E)	△ 10	△ 3,890,827	3,890,817
当期一般正味財産増減額(G)(C+F)	△ 2,068,855	763,479	△ 2,832,334
一般正味財産期首残高(H)	38,313,696	37,550,217	763,479
一般正味財産期末残高(I)(G+H)	36,244,841	38,313,696	△ 2,068,855
II 指定正味財産増減の部			
(1) 特定資産運用益			
特定資産受取利息	11,777,033	35,211,010	△ 23,433,977
(2) 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 37,992	△ 14,523,690	14,485,698
(3) 補助金等返還額			
補助金等返還額	0	△ 35,636,507	35,636,507
当期指定正味財産増減額(J)	11,739,041	△ 14,949,187	26,688,228
指定正味財産期首残高(K)	1,575,894,417	1,590,843,604	△ 14,949,187
指定正味財産期末残高(L)(J+K)	1,587,633,458	1,575,894,417	11,739,041
III 正味財産期末残高(M)(I+L)	1,623,878,299	1,614,208,113	9,670,186

(2 - 1) 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和2年7月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	公 1	公 2	小計		
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	0	0	0	116,986	116,986
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	69	0	69	0	69
③ 事業収益					
受取協賛金	0	0	0	0	0
④ 受取補助金等					
受取補助金 (県)	1,917,634	2,043,658	3,961,292	1,082,708	5,044,000
受取補助金 (国等)	0	0	0	0	0
受取助成金 (国等)	0	0	0	0	0
受託金 (県)	0	966	966	0	966
受託金 (国等)	0	0	0	0	0
⑤ 受取負担金					
受取負担金	0	0	0	0	0
⑥ 受取寄付金					
受取寄付金振替額	28,432	9,560	37,992	0	37,992
⑦ 雑収益					
雑収益	0	46,000	46,000	24,497	70,497
経常収益計(A)	1,946,135	2,100,184	4,046,319	1,224,191	5,270,510
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	130,817	130,817	261,634	-	261,634
給料手当	1,296,015	1,296,015	2,592,030	-	2,592,030
嘱託配置費	0	0	0	-	0
退職給付費用	0	0	0	-	0
福利厚生費	198,645	198,645	397,290	-	397,290
報償費	0	0	0	-	0
旅費	0	0	0	-	0
事務費	133,361	133,361	266,722	-	266,722
助成費	0	0	0	-	0
委託費	0	361,968	361,968	-	361,968
燃料費	5,545	5,545	11,090	-	11,090
器具及び備品減価償却額	105,035	105,035	210,070	-	210,070
保険料	0	0	0	-	0
水道光熱費	0	0	0	-	0
賃借料	151,825	151,825	303,650	-	303,650
公租公課	0	200	200	-	200
分担金・負担金	24,500	24,500	49,000	-	49,000
工事及び装飾費	0	0	0	-	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	-	0
雑費	48,803	23,430	72,233	-	72,233
② 管理費					
役員報酬	-	-	0	281,129	281,129
給料手当	-	-	0	887,729	887,729
退職給付費用	-	-	0	0	0

科目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	公1	公2	小計		
福利厚生費	-	-	0	137,517	137,517
報償費	-	-	0	396,000	396,000
旅費	-	-	0	31,952	31,952
事務費	-	-	0	326,029	326,029
委託費	-	-	0	66,000	66,000
燃料費	-	-	0	4,754	4,754
器具及び備品減価償却額	-	-	0	90,032	90,032
水道光熱費	-	-	0	0	0
賃借料	-	-	0	130,136	130,136
公租公課	-	-	0	50,000	50,000
分担金・負担金	-	-	0	21,000	21,000
賞与引当金繰入額	-	-	0	0	0
雑費	-	-	0	391,190	391,190
経常費用計(B)	2,094,546	2,431,341	4,525,887	2,813,468	7,339,355
当期経常増減額(C)(A-B)	△ 148,411	△ 331,157	△ 479,568	△ 1,589,277	△ 2,068,845
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計(D)	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
器具及び備品除却損	6	4	10	0	10
経常外費用計(E)	6	4	10	0	10
当期経常外増減額(F)(D-E)	△ 6	△ 4	△ 10	0	△ 10
当期一般正味財産増減額(G)(C+F)	△ 148,417	△ 331,161	△ 479,578	△ 1,589,277	△ 2,068,855
一般正味財産期首残高(H)	8,976,453	5,713,542	14,689,995	23,623,701	38,313,696
一般正味財産期末残高(I)(G+H)	8,828,036	5,382,381	14,210,417	22,034,424	36,244,841
II 指定正味財産増減の部					
(1) 特定資産運用益					
特定資産受取利息	7,766,074	4,010,959	11,777,033	0	11,777,033
(2) 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 28,432	△ 9,560	△ 37,992	0	△ 37,992
当期指定正味財産増減額(J)	7,737,642	4,001,399	11,739,041	0	11,739,041
指定正味財産期首残高(K)	1,534,825,034	6,069,383	1,540,894,417	35,000,000	1,575,894,417
指定正味財産期末残高(L)(J+K)	1,542,562,676	10,070,782	1,552,633,458	35,000,000	1,587,633,458
III 正味財産期末残高(M)(I+L)	1,551,390,712	15,453,163	1,566,843,875	57,034,424	1,623,878,299

3 キャッシュ・フロー計算書

令和2年4月1日から令和2年7月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 当期一般正味財産増減額(A)	△2,068,855	763,479	△ 2,832,334
2 キャッシュ・フローへの調整額			
(1) 器具及び備品減価償却費	300,102	811,682	△ 511,580
(2) 器具及び備品除却損	10	0	10
(3) 賞与引当金の増減額	△12,850,000	631,000	△ 13,481,000
(4) 退職給付引当金の増減額	0	10,686,734	△ 10,686,734
(5) 有価証券利息の増減額	0	4,943	△ 4,943
(6) 未収金の増減額	129,572,243	41,529,389	88,042,854
(7) 未収収益の増減額	△116,851	0	△ 116,851
(8) 立替金の増減額	0	563,100	△ 563,100
(9) 設備資金貸付金の増減額	67,603,000	241,036,000	△ 173,433,000
(10) 設備資金貸付未収金の増減額	0	10,968,000	△ 10,968,000
(11) 設備資金貸付未収損害賠償金の増減額	716,000	△25,494,000	26,210,000
(12) 未払費用等の増減額	△12,837,978	2,867,961	△ 15,705,939
(13) 預り金の増減額	△428,606	△2,761,718	2,333,112
(14) 償却債権預り金の増減額	△1,973,032	△413,493	△ 1,559,539
(15) 指定正味財産からの振替額	△37,992	△14,523,690	14,485,698
小計(B)	169,946,896	265,905,908	△ 95,959,012
3 指定正味財産増加収入			
(1) 特定資産運用益			
特定資産受取利息	360,166	35,211,010	△34,850,844
指定正味財産増加収入計(C)	360,166	35,211,010	△ 34,850,844
4 指定正味財産減少支出			
(1) 補助金等返還額			
補助金等返還額	0	35,636,507	△35,636,507
指定正味財産減少支出計(D)	0	35,636,507	△ 35,636,507
事業活動によるキャッシュ・フロー(E) (A+B+C-D)	168,238,207	266,243,890	△ 98,005,683
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
(1) 特定資産取崩収入			
特定資産取崩収入	25,757,062	14,948,990	10,808,072
投資活動収入計(F)	25,757,062	14,948,990	10,808,072
2 投資活動支出			
(1) 特定資産取得支出			
特定資産取得支出	360,166	6,837,655	△ 6,477,489
(2) 固定資産取得支出			
器具及び備品購入支出	0	1,349,520	△ 1,349,520
投資活動支出計(G)	360,166	8,187,175	△ 7,827,009
投資活動によるキャッシュ・フロー(H) (F-G)	25,396,896	6,761,815	18,635,081

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
財務活動収入計(I)	0	0	0
2 財務活動支出			
(1)借入金返済支出			
長期借入金返済支出	151,223,000	334,151,000	△ 182,928,000
財務活動支出計(J)	151,223,000	334,151,000	△ 182,928,000
財務活動によるキャッシュ・フロー(K) (I-J)	△151,223,000	△334,151,000	182,928,000
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額(L)	0	0	0
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額(M) (E+H+K)	42,412,103	△61,145,295	103,557,398
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高(N)	69,359,310	130,504,605	△ 61,145,295
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高(O) (L+M+N)	111,771,413	69,359,310	42,412,103

4 財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準(平成20年4月11日{平成21年10月16日改正}内閣府公益認定等委員会)」を採用している。公1は経営革新及び創業の促進に関する事業、公2は経営基盤の強化に関する事業である。
なお、法人会計は、管理業務やその他の法人全般に関わる事項を処理している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的債券であり、原価法を採用している。ただし、債券価格と異なる価格で取得した場合、償却原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準について
 - ① 賞与引当金
役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ② 退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づき長期の必要支給額を見積り、毎年の必要額を計上している。
 - ③ 貸倒引当金
貸付金については、県の損失補償による補填があり、その他の債権については個別に検討し、回収不能見込額がないため計上していない。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
資金の範囲は、現預金である。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3 会計方針の変更

変更なし

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	35,006,960	0	0	35,006,960
小計	35,006,960	0	0	35,006,960
特定資産				
工業技術振興基金資産	2,042,000	0	0	2,042,000
いばらきチャレンジ基金資産	7,552,783,034	7,766,074	28,432	7,560,520,676
<small>茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金資産</small>	30,006,094,028	4,010,959	9,560	30,010,095,427
退職給付引当資産	143,374,946		25,719,070	117,655,876
小計	37,704,294,008	11,777,033	25,757,062	37,690,313,979
合計	37,739,300,968	11,777,033	25,757,062	37,725,320,939

- 5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
投資有価証券	35,006,960	35,000,000	6,960	0
小計	35,006,960	35,000,000	6,960	0
特定資産				
工業技術振興基金資産	2,042,000	2,042,000	0	0
いばらきチャレンジ基金資産	7,560,520,676	1,540,520,676	0	6,020,000,000
<small>茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金資産</small>	30,010,095,427	10,070,782	24,645	30,000,000,000
退職給付引当資産	117,655,876	0	0	117,655,876
小計	37,690,313,979	1,552,633,458	24,645	36,137,655,876
合計	37,725,320,939	1,587,633,458	31,605	36,137,655,876

- 6 担保に供している資産

いばらきチャレンジ基金資産7,560,520,676円のうち6,020,000,000円(帳簿価額)は、いばらきチャレンジ基金6,020,000,000円の担保に供している。

茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金資産30,010,095,427円のうち15,000,000,000(帳簿価額)は、茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金30,000,000,000円の担保に供している。

- 7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額等	当期末残高
器具及び備品	26,620,283	24,554,509	2,065,774
ソフトウェア	500,000	441,666	58,334
合計	27,120,283	24,996,175	2,124,108

- 8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし

- 9 保証債務等の偶発債務
該当なし

- 10 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	償還日	利率	帳簿価格	時価	評価損益
利付国債 318回(10年)	3.09.20	1.00	5,000,996	5,065,455	64,459
利付国債 318回(10年)	3.09.20	1.00	30,005,964	30,392,730	386,766
地方公共団体金融機構債券 113回(10年)	10.10.25	0.299	4,000,000,000	4,061,660,000	61,660,000
共同地方債 187回(10年)	10.10.25	0.269	2,030,000,000	2,062,191,740	32,191,740
利付国債 321回(10年)	4.03.20	1.00	100,017,799	101,892,700	1,874,901
利付国債 333回(10年)	6.03.20	0.60	300,178,966	308,548,200	8,369,234
利付国債 339回(10年)	7.06.20	0.40	99,958,247	102,812,000	2,853,753
利付国債 339回(10年)	7.06.20	0.40	79,966,598	82,249,600	2,283,002
地方公共団体金融機構債券 F320回(5年)	3.02.26	0.02	15,000,000,000	15,000,840,000	840,000
合計			21,645,128,570	21,755,652,425	110,523,855

- 11 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
県補助金	茨城県	0	5,044,000	5,044,000	0	-
県受託金	茨城県	0	966	966	0	-
工業技術振興基金資産	茨城県他	2,042,000	0	0	2,042,000	指定正味財産 寄付金等
いばらきチャレンジ基金資産 (いばらき産業大県創造基金資産)	茨城県	1,532,783,034	7,766,074	28,432	1,540,520,676	〃
茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金資産	茨城県	6,069,383	4,010,959	9,560	10,070,782	〃
合計		1,540,894,417	16,821,999	5,082,958	1,552,633,458	-

- 12 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし

- 13 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は，次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
いばらきチャレンジ基金	28,432
(助成費支払による振替額)	0
(管理事業費支払による振替額)	28,432
茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金	9,560
(助成費支払による振替額)	0
(管理事業費支払による振替額)	9,560
経常収益への振替額 合計	37,992

- 14 関連当事者との取引の内容
関連当事者との取引の内容は，次のとおりである。

(単位：円)

法人等の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(円)	科目	期末残高(円)
				役員業務等	事実上の関係				
茨城県	水戸市 笠原町 978-6	地方 公共 団体	-	-	県の中核的 支援機関	補助	5,044,000	未収金	1,261,000
						委託	966	未収金	966
						貸付	-	いばらきチャレンジ基金資産	900,000,000
						貸付	-	茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金資産	15,000,000,000
						返済	151,223,000	設備資金借入金	287,169,000
						借入	-	いばらきチャレンジ基金借入金	6,020,000,000
						借入	-	茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金借入金	30,000,000,000

15 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、以下のとおりである。

(単位：円)

前期末残高		当期末残高	
現金預金勘定	69,359,310	現金預金勘定	111,771,413
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	69,359,310	現金及び現金同等物	111,771,413

(2) 重要な非資金取引
該当なし

16 重要な後発事象

公益財団法人茨城県中小企業振興公社は、公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構に吸収合併され、令和2年8月1日付けで解散した。

5 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のため省略する。

2 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	12,850,000	0	12,850,000	0	0
退職給付引当金	147,224,025	0	0	0	147,224,025
合計	160,074,025	0	12,850,000	0	147,224,025

6 財産目録

令和2年7月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現預金	普通預金・常陽銀行県庁支店	運転資金として	111,771,413
	未収金	茨城県、いばらき中小企業グローバル推進機構ほか	公益目的事業に係る補助金等の未収分、いばらき中小企業グローバル推進機構からの未収金ほか	50,535,476
	未収収益	常陽銀行県庁支店他	有価証券等の利息の未収分	127,591
	一年内回収設備資金貸付金	貸付35件	企業への設備資金貸付金	111,760,000
流動資産合計				274,194,480
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第318回利付国債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	35,006,960
特定資産	工業技術振興基金資産	定期預金・常陽銀行県庁支店	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	2,042,000
	いばらきチャレンジ基金資産	普通預金・常陽銀行県庁支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の財源として使用している。	40,430,057
		定期預金・常陽銀行県庁支店	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	1,657,410
		第113回地方公共団体金融機構債他	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	6,610,121,610
		貸付金・茨城県	公益目的保有財産であり、県への貸付金で保有し、貸付利息を公益目的事業の財源として使用している。	900,000,000
		未収収益・常陽銀行県庁支店他	有価証券等の利息の未収分	8,311,599
	茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金資産	普通預金・常陽銀行県庁支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の財源として使用している。	6,059,823
		F320回地方公共団体金融機構債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	15,000,000,000
		貸付金・茨城県	公益目的保有財産であり、県への貸付金で保有し、貸付利息を公益目的事業の財源として使用している。	15,000,000,000
		未収収益・野村証券水戸支店	有価証券等の利息の未収分	4,035,604
その他の資産	退職給付引当資産	普通預金・常陽銀行県庁支店	職員の退職金に係る積立金	117,655,876
	設備資金貸付金	貸付35件	企業への設備資金貸付金	54,990,000
	設備資金貸付未収損害賠償金	貸付3件	企業への設備資金貸付金	24,778,000
	器具及び備品	38口	公益目的事業の用に供している。	2,065,774
	ソフトウェア	1口	公益目的事業の用に供している。	58,334
固定資産合計				37,807,213,047
資産合計				38,081,407,527
(流動負債)				
	未払金	いばらき中小企業グローバル推進機構	公社事業分の仮払分への未払金	37,532
	未払費用	茨城労働局	職員等の労働保険料	1,332,231
	預り金	茨城労働局	職員等の労働保険等預り金	403,440
	償却債権預り金	茨城県他	償却債権回収金の県等への返還分	1,363,000
	一年内返済長期借入金	茨城県	公益目的事業に係る県からの借入金	201,041,000
流動負債合計				204,177,203
(固定負債)				
	長期借入金	2口	公益目的事業に係る県からの借入金	86,128,000
	いばらきチャレンジ基金		公益目的事業に係る基金の造成のための県からの借入金	6,020,000,000
	茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金		公益目的事業に係る基金の造成のための県からの借入金	30,000,000,000
	退職給付引当金		職員の退職金に係る積立金	147,224,025
固定負債合計				36,253,352,025
負債合計				36,457,529,228
正味財産				1,623,878,299

独立監査人の監査報告書

令和2年10月22日

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構
理事長 小善 真司 殿

有限責任監査法人ひばり
指定有限責任社員 公認会計士

横山 哲郎



<財務諸表等監査>

監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人茨城県中小企業振興公社の令和2年4月1日から令和2年7月31日までの令和2年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

強調事項

財務諸表に対する注記16に記載されているとおり、公益財団法人茨城県中小企業振興公社は、公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構に吸収合併され、令和2年8月1日付けで解散した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公

益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人茨城県中小企業振興公社の令和 2 年 7 月 31 日現在の令和 2 年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

令和2年10月22日

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構
理事長 小善 真司 殿

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構

監事 鈴木 卓



監事 梶山 伸介



監査報告書

私たち監事は、当機構の令和2年4月1日から7月31日までの令和2年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について監査しました。

また、会計監査人から、当該年度の監査を行うに当たり、監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を行っていることを認めました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）、計算書類の附属明細書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書を監査しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当公社の状況を適正に示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類、計算書類の附属明細書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の監査結果

- ① 計算書類、計算書類の附属明細書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書は、当公社の状況を適正に示しているものと認めます。
- ② 会計監査人有限責任監査法人ひばりの監査方法及び結果は適正であると認めます。

以上